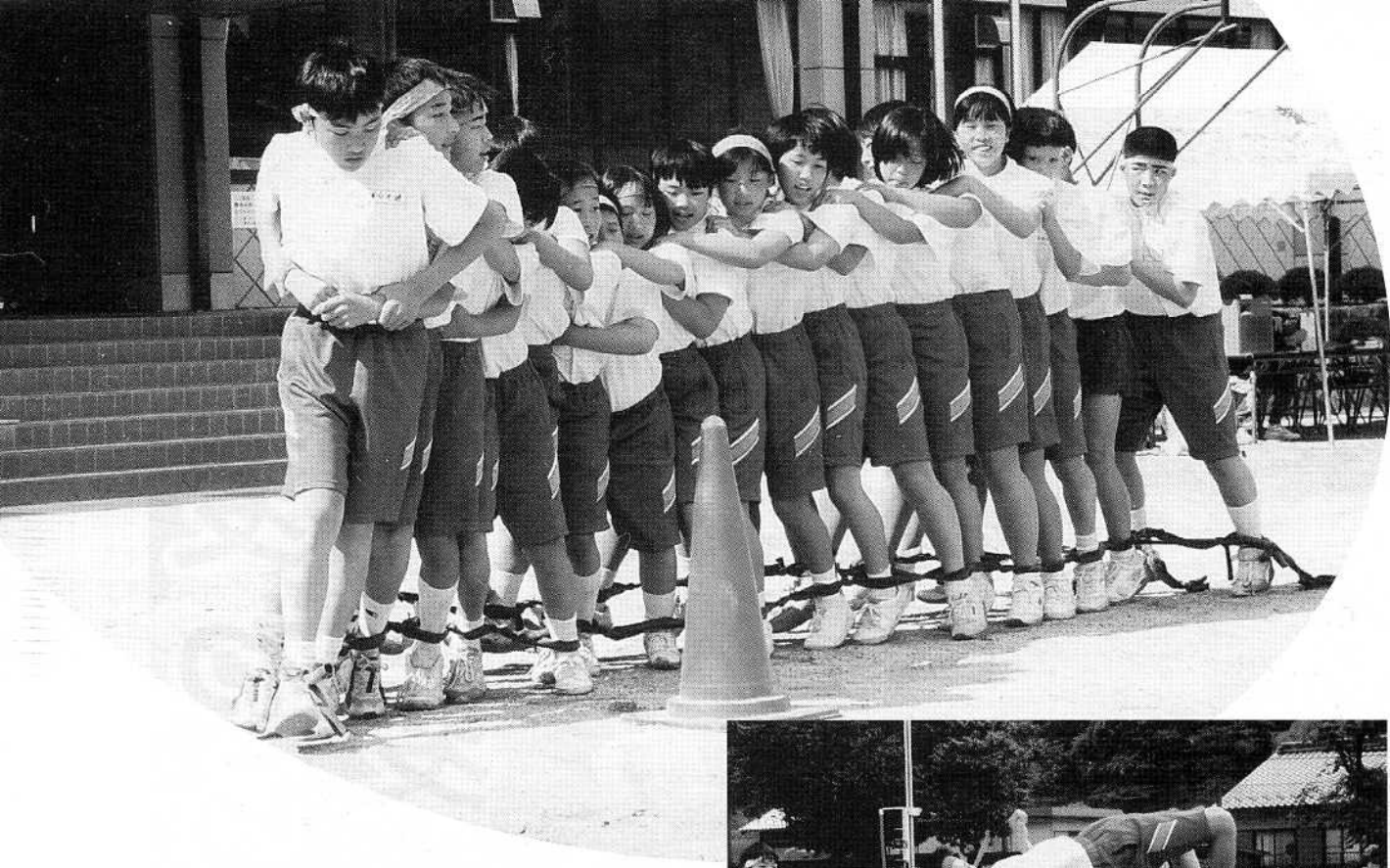




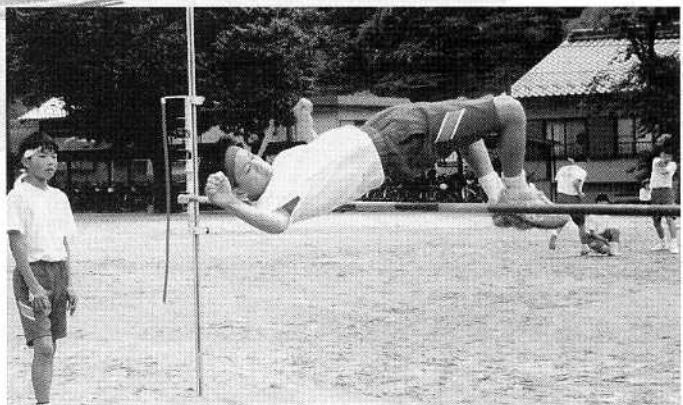
▲ いい調子！先輩たちに負けないぞ！！

心が一つにまとまった 中学校体育大会

そよ風が少し肌寒さを感じさせた5月25日に中学校体育大会が行われました。

この大会は、学年対抗で行われ、短距離走、走り高跳びなど個人記録が懸かった競技やムカデ競争、長縄跳びなど団結力が物を言う団体競技など全部で13種目で競われました。

大会には、学年の体力を考慮したハンディキャップ制がとられましたが、結果は、先輩らしいまとまりを見せた3年生が、ハンデをもろともせず優勝。しかし、精いっぱい戦った生徒たちは「努力・団結・友情～汗と涙を感動に～」のスローガンにふさわしい戦いを見せ、さわやかな汗を流していました。



▲ 見事な背面ジャンプ！！1年生の今井章弘さん（大沢）



▲ 気持ちが一つになっています。3年生の長縄跳び

広報 ひがししらかわ

1997
平成9年

⑥

No.432

人口の動き

～5月末住民登録人口から～

世帯数	904	世帯
人口	3,293	人
転入	8	人
転出	9	人
出生	1	人
死亡	2	人

先月と比較して2人減
昨年同月と比較して30人減



変わらなきや。 変わるとき。

『輝く茶産地への再編』

村の農業の中核的な役割を担ってきた茶業は、ここ数年、生産者の高齢化、後継者不足、機械の老朽化といった問題に悩まされてきましたが、その打開策として、組合の合併、コンピュータ制御による機械の導入によって合理化を図ろうとしています。しかし、組合の安定維持、良質な生葉生産、そして年間雇用ができる体制づくりが今後の課題ではないでしょうか。

今回は、そういった変貌を遂げようとしている茶業に着目し、将来のビジョンを探ってみたいと思います。

四百年の歴史を経て

白川茶は、色にさわやかさがあ
り、香りになつかしさを漂わせる
独特な風味が高級茶として名声を
高めています。これは清流白川、
そして白川へそそぐ溪流から湧き
立つ朝霧、夕霧、そして昼夜の気
温差が独特な風味を育んでくれる
のです。

白川茶の歴史は古く、四百年前
に大沢村（現在の五加大沢）の播
龍寺の住職が山城国宇治から茶の
実を持ち帰り里人に与えて茶の栽
培を奨めたのが始まりと伝えられ
ています。

それが土地に適しており、良質
な茶葉を産みだす白川流域は、こ
の地方屈指の茶産地となり、明治
に入るとお茶は、村にとって生糸・
繭に次ぐ重要特産物で広く各地に
波及しました。

大正の中ごろには、製品の品質
規格の統一を図るために、各地区
ごとに製茶改良組合が組織され、
それまで個々の農家と直接取引
きされていた荒茶は、組合を通じ
て業者の競りによる売買がされる
ようになりました。

昭和に入り終戦を迎えた昭和二
十四年ごろ、農協事業として茶園
改良と優良品種（ヤブキタ）の導

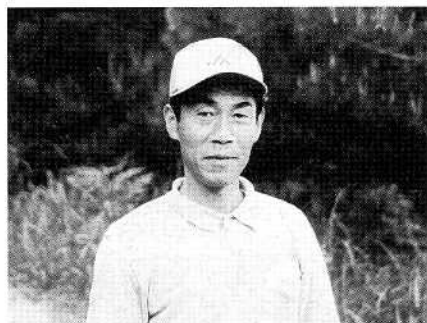
大きな選択と

勇気ある決断を

平成九年度の一番茶共販会は、昨年より二回少なく、早く六月十三日に第六回をもって終了しました。

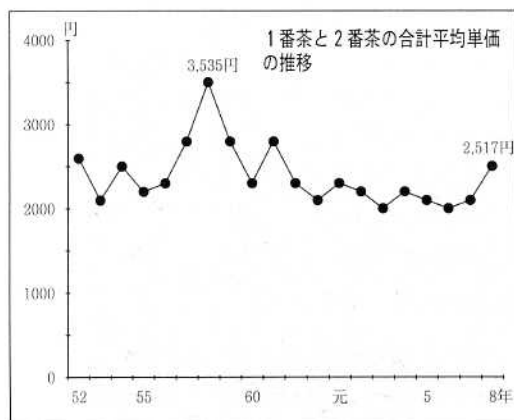
村では、ここ数年、商社が求める品質の良い茶ができなくなり、平成七年八年と連続して白川茶流通センターの平均単価を下回る結果になっていました。今年、昨年は、出荷できなかった第一回共販会に約三千kgもの荒茶を販売できたこと、今年の茶の品質が評価された点が起因して、平均をわずかながらも上回りました。しかし、その背景には、第二回の共販会で四十一と予想外の荒茶が出荷され、白川茶全体が値崩れをおこしたことが平均を上回った結果となり、決して手放して喜べることはありません。

東白川村の茶業は、厳しい環境であるがゆえに培った他産地にはない味と香りを売り物に産地化を進めてきましたが、茶生産の最盛期から二十数年を経



神土茶生産組合 安江美好さん

後継者不足は深刻な問題である。将来は、生産から販売まで一環した会社組織で、茶園の管理、加工、販売まででき、年間を通して雇用ができることが理想。今回の組合合併は従来の体質から変わるいいチャンスです。



なぜ

今、合併なのか……

全国の茶産地では、産地の生き残りを掛け、茶工場の再編合併をする動きが急速に高まっています。特に、全国



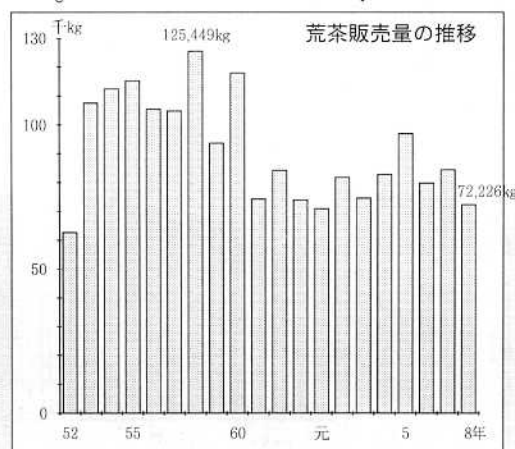
神土茶生産組合 安江利英さん

お茶は先祖が残してくれた財産で、このままでは終わってしまう。もう少し危機感を持って取り組まなければいけない。将来は会社組織にして、IターンUターンの人たちが働けるような基盤づくりをしていきたい。

一の茶処である静岡県では、再編の次なる再編の動きが出ており、また、隣の白川町は、今年度をもって全工場の再編整備を完了しようとしています。

入が始まり、茶の換金作物としての有利性が認識され、二十八、九年ごろには、村内各地で有志による茶業研究グループが誕生するようになりました。

県下でも、再編の流れに乗り遅れないようにと二十組合以上が今後再編を予定していると聞きます。



茶園造成をはじめ、緑茶共同加工施設の建設などの事業が盛り込まれていました。

昭和四十一年度からはじまった「農業構造改善事業」でも茶業振興が大幅に取上げられ、茶園の面積拡大はもとより、経営近代化施設として、五加・神土・黒淵・神付茶生産組合の緑茶共同加工施設が相次いで完成。その結果、昭和四十六年度における茶園の総面積は一一〇〇haを超え、その販売量も六万kgを突破するなど、めざましい発展を遂げました。

東白川村茶業振興会では、平成六年九月、各組合の役員を構成員として茶工場合併検討委員会を編成し、各工場の経営診断、現状分析を行い、問題点を洗いだして検討を進めた結果、「産地生き残りのためには将来を見据えた体制づくりに取り組む必要がある」とした意見にまとまり、「四つの工場を合併し一本化することが望ましい」とする見解が示されました。

しかし、一本化の時期については、各組合それぞれ事情があり結果的には早くから合併を望んでいた黒瀾茶生産組合と、早期に合理化、省力化を進める必要があるとした神土茶生産組合とが、一本化を先導する形で合併することになりました。



神土茶生産組合長

安江泉治さん

静岡などに比べると気温が低く収量が少ない。しかし、静岡の栽培方法を真似するのではなく白川茶にあった栽培方法を確立して、特徴を生かした生葉を生産すること。そして組合員は、自分のお茶は自分で売る気持ちを持たなければいけない。

大きな支援で

大きな期待を

合併は、双方の資産・負債を継承する形でなく、新世紀に向けて東白川村の茶業を背負って立つ足腰の強い組合をめざすため、それぞれが精算をして解散し、古い殻を脱ぎ捨て全く新しい組合を設立して出発します。

そして、現在は新工場の設計にかかり、平成十年操業開始を目指して、着々と建設委員会の検討が進んでいます。

当然ながら、建設委員会には、越原茶と五加茶の役員も加わっており、望ましい一本化像を全茶生産農家



黒瀾茶生産組合長

安江伊雄さん

黒瀾茶生産組合が無くなることは大変さみしいのが本音です。最盛期には生産者たちも大変盛り上がりしました。しかし、61年の寒干害で農家の意欲は断たれてしまいました。

これからは新しい組合を盛り上げていきたいと思っています。

を対象に考えています。今回の合併には、

神土茶と黒瀾茶の組合員の他に越原茶と五加茶の一部

の生産者と個人工場の方が参画してスタートを切ります。

コンピュータによる全自動制御の最新鋭機械は、二億数千円と非常に高価なため、工場については新設しない方向で検討し、可能な限り整備費を抑える研究がなされました。

幸いにして、設定した機械は、神土茶工場に収まることからわかり、全村の中心という位置関係からも神土茶の建

物を新組合の工場とすることに決定しました。

しかし、補助事業を受けるためには、建物は新しい機械の耐用年数を満たすことが必要です。

このため、老朽化した屋根、壁などの一部を改修する必要がある。この部分は国・県の補助対象外の事業として、今回併せて整備することになりました。

結果的には総事業費は、

三億を越す事業費となりそうですが、一本化を前提にした茶工場の段階的再編整備は今回限りという条件で、厳しい茶農家の経営状況を察し、組合負担を軽減するために二割程度に止める形で議会

も村も最大限の支援をすることになりました。

加工の合理化と省力化で

還元率を向上

コンピュータ制御による機械を入れることによって、どんなメリットが挙げられるのでしょうか。

品質の高い加工品が安定的に生産でき、商社の信用が回復して有利な販売がでる単価が向上する。加工技術者や工場従事者等の省力化により固定経費が低くなり、還元率が向上する。合併により、処理能力が増えるため、効率

白川茶が日本一に！

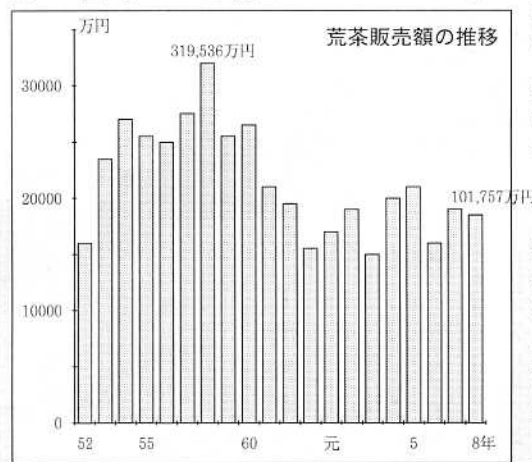
天皇賞に輝く

昭和五十八年には、神土茶生産組合が、最高位である日本農業賞と天皇杯受賞に輝きました。

この受賞は、美濃白川茶の発展にたずさわる人たちの大きな励みになりました。

受賞の理由は、第一に、経営の大小にかかわらず、すべての茶業農家を参画さ

せ、地域ぐるみの組織を育成したこと。第二に、茶業と林業、畜産などの地場産業の有機結合によって、土地利用と労働力、家畜ふん尿などの有効利用を促進し、地域農業の確立を図ったこと。第三に、役員、従業員などの責任分担体制を明確し、近代的な加工システムと合理的な運営体制を作りあげたこと。こうした山間地域農業の発展方向を見いだしたことが認められました。





お茶の権威といわれる
製茶機械メーカーの技術顧問

柴田雄七氏

これからお茶の産地として生き残るには、陶芸で言えば窯元のような人物が現れなければいけません。農業の中でお茶だけがアート（芸術）です。今後栽培技術を磨き、東白川のお茶でなければ飲めないという信者を作っていかなければ。補助金をあてにした農業は終わりました。これからは自立した農業を考える必要があります。

私が育てた農家で、福岡県八女市の室園、静岡県富士市の小林園、埼玉県所沢市の新井園は、10㊦当たり300万円、年商数十億を売り上げています。この人たちは、いわゆる窯元といわれるプロの農業者です。

東白川村も21世紀に生き残れる農業を考えていただきたい。



五加茶生産組合長

古田敬司さん

生産者の高齢化、後継者のことを考えると合併は良いことだと思う。しかし、今回は準備期間が短く、いっしょに出発はできませんが、近い将来、五加も合併をしなければならぬと思います。

現在、農業収入で生計を立てられなくなった農家が第二種兼業化し、休日を使ったサラリーマン的農家が増えつつある中で、均一な生葉を安定的に生産するかが課題となってくるわけです。

生葉が九割りを左右する

茶の品質

産確保するには非常に困難を要します。しかし、「機械や加工技術でカバーできる面は品質の一割程度、生葉が荒茶品質の九割りを決定づける」と言われるほど、生葉は重要なのです。そのためには、ほ場ごとに新組合が定めた施肥設計に基づく肥培管理を徹底して行えるシステムづくりを進めることと、東白川村独自の栽培体系を確立することが必要です。



東白川村茶業振興会長

今井眞平さん

お茶がどうしても高く売れるかを考える必要がある。東白川独自の栽培方法を確立し、競ってもらえるお茶づくり、いかに収量アップができるかを研究しなければ。合併は、これからの話し合いが大事。発展する方向に考えていかなければならない。

茶業振興会では、「茶ガンバル宣言」を今年度のスローガンに栽培実証を行う計画です。実証は、この九年度から使用を開始している気象観測局付近で標高差の違う三つのほ場を設定し試験実証を開始します。

経営感覚に優れた

二号法人へ向けて

新組合は、オペレータの年間雇用を目指し、茶の生産から加工、販売。そして美濃東部農用地総合整備事業による近代茶園造成、管理できない農家の茶園管理までを手掛けられるような茶業経営が行える二号法人が考えられています。農家それぞれの立場を尊重し、生葉生産から組合運営、工場運営までの業務を無理のない形で分業化し、組合員と生葉出荷会員という二つの立場で「輝く茶産地の再編」に向け、村の熱い期待を受け先人の偉業の上に、今、スタート台に立つようとしています。

茶業を襲った気象災害と 機械の老朽化

昭和五十八年以後、生産にめざましい伸びが無いのは、気象による被害と茶樹の老化でした。

そのため、昭和六十年から県営畑総事業により、古い茶樹の改植が行われ、平成二年からは、防霜施設（防霜ファン）の整備や推進が行われましたが、多くの農家は従来からの被覆に頼り、不安定な生産に、収入源を他に求める人たちが年々増えていきました。

平成三年には、荒茶の平均単価は二千万円を割り、販売額一億四千四百万円。昭和五十八年の三億一千九百万円に対して、半分以下となりました。これは、気象による被害のほか原因となったのは、製茶機械の老朽化でした。

黒瀾茶生産組合でも五十四年の販売額四千九百万円をピークに、昨年には、千七百七十四万円と最盛期の四分の一まで減収しました。こうした低迷が続く中、黒瀾茶生産組合は、以前から対策を申し出ており、また、神土茶生産組合も合理化を図るには、最新鋭機械の導入と合併は不可欠と判断。茶生産組合の全村一本化へと進展していきました。

元気村の『出来事情報』



エサに困ったのか雨の中、道端をさまようタヌキ。大沢橋付近にて



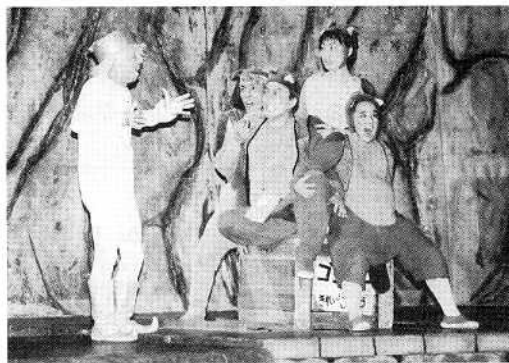
手を取って丁寧に教える長寿会の安江きぬさん(日向)が、子どもたちに「だんごろうの子育て日記」の一コマを教える様子。子どもたちは、お年寄りたちから、ワラを持つ生徒たちの手を取り、丁寧な指導を受けていました。そのかいがあったか、中には四角いもう器用な子もいました。最初は、ほとんどの子どもは初めての体験に悪戦苦闘。しかし、都会では味わえない体験に、子どもたちは喜びを感じていました。

の生誕の地である陰地の名古屋女子大越原学舎でオリエンテーション合宿を実施。その一環として、九日に老人クラブ長寿会の皆さん五人を講師に迎えて、縄のない方を習いました。六つの班に分けられた生徒たちは、子どもの頃に体験したという校長先生とそれぞれの講師を中心に輪になり、お年寄りたちは、ワラを持つ生徒たちの手を取り、丁寧に教えていました。そのかいがあったか、中には四角いもう器用な子もいました。最初は、ほとんどの子どもは初めての体験に悪戦苦闘。しかし、都会では味わえない体験に、子どもたちは喜びを感じていました。

都会の子どもたちに縄ないを伝授!!

伝承

五月八日から十日までの三日間、名古屋女子大学中学校の生徒百十八人が、創立者越原春子さん



空缶の妖怪におそわれるタヌキ親子たち。

「だんごろうの子育て日記」の一コマを教える様子。子どもたちは、お年寄りたちから、ワラを持つ生徒たちの手を取り、丁寧に指導を受けていました。そのかいがあったか、中には四角いもう器用な子もいました。最初は、ほとんどの子どもは初めての体験に悪戦苦闘。しかし、都会では味わえない体験に、子どもたちは喜びを感じていました。

物語で、化けることの手な子だぬきがゴミや空缶から生まれた妖怪に立ち向かいながら一人前になっていく様子を描いたものです。この公演を鑑賞する子どもたちは、ためきやきつねたちにふん装する役者さんたちの笑いあり涙ありの迫力ある演技に感動し、大きな拍手を贈っていました。

公演から学んだ環境汚染問題

鑑賞

子どもたちに優れた芸術を鑑賞させることによって、豊かな感性を育てよう」と小・中学生を対象に、へき地芸術フェスティバル、劇団「うりんこ」の公演が、五月十二日にはなのき会館で行われました。

この日、上演された「だんごろうの子育て日記」は、荒れ果てた山を捨て、水のある所へ向かうとするためき親子ときつねたちの物語で、化けることの手な子だぬきがゴミや空缶から生まれた妖怪に立ち向かいながら一人前になっていく様子を描いたものです。



家庭内に関わる諸問題について熱く語る県人権擁護委員連合会の森川幸江さん

家庭内に関わる諸問題について熱く語る県人権擁護委員連合会の森川幸江さんによる「家庭内に関わる諸問題について」と題した講演やお年寄りが第二の人生で生きがいを見つけていく様子を描いた映画が上映されました。

誰もが幸せになる権利を持ち、お互い相手の立場を考えて、豊かな人間関係をつくる必要があります。村は、今年度、美濃加茂人権擁護委員協議会から人権モデル地区に指定され、五月十九日にはなのき別館で東白川村人権モデル地区推進協議会の発会式が行われました。発会式では、人権擁護委員の中島葵一さん(西洞)ら三十一人が協議会委員に任命されたほか、会則や活動計画などが決められました。そのあと、県人権擁護委員連合会の森川幸江さんによる「家庭内に関わる諸問題について」と題した講演やお年寄りが第二の人生で生きがいを見つけていく様子を描いた映画が上映されました。

人類は皆平等!! 村が人権モデル地区に

発足



東白川村人権モデル地区推進協議会委員に任命され委嘱状を受ける中島葵一さん(西洞)

話題集まれ!

勞
働

からだで覚える
村の農業!!

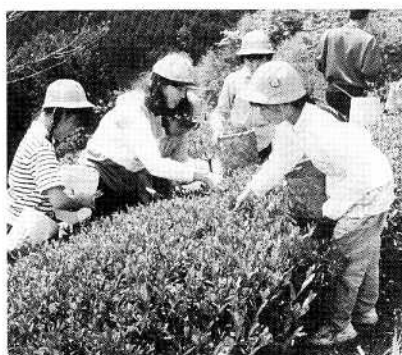


5年生の田植え風景。この田んぼも秋には
黄金色になり、収穫が楽しみです

東白川小学校では、子どもたちが働くことの大切さや知識を養うことを目的に、田植えや茶摘みの体験が行われました。

田植えが行われたのは五月十五日。学校付近にある研修田で、五年生五十人が、服や顔を泥だらけにしながらも手で楽しそうに植えていました。この稲作は、農薬や化学肥料を一切使わず、今後、水の管理や草刈りなどは、すべて子どもたちによって行われます。

一方、茶摘み体験が行われたのは、五月二十三日。三年生から六年生までの百五十九人が参



一芯二葉で丁寧に摘み取る子どもたち
 加し、子どもたちは、一芯二葉を心がけながら、腰に下げた籠をいっぱいにしていました。摘まれたお茶の一部は子どもたちによって手揉みにされます。

學
習

これだけは知っておきたい
社会のマナー



相手の顔がわからない電話の応対
はやさしく丁寧に

村内で働く新規就業者の皆さんに職場で必要とされるマナーや村のことを知っていただくとうと、五月三十、三十一日の二日間の日程で、新規就業者研修フレッシュパック'97が実施されました。

この研修には、男女合わせて十人の若者が参加し、はなのき会館で電話の応対セミナーを受講したあと、バッテリーゴルフや村内の施設を見学。この見学で、普段何気なく過ごしている自分たちの村を新ためて認識したようです。

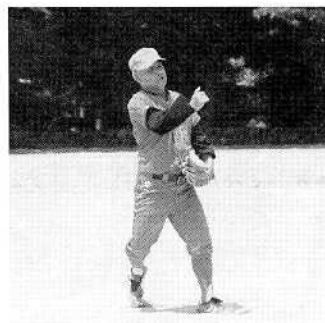
その後は、会場を美濃加茂市のホテルに移し、
村長による「東白川村の未来像について」の話



老人福祉の実態を知るために
「せせらぎ荘」を訪門しました
やテンプルマナー
の実習が行われ、
参加した若者た
ちは、今まで知
らなかった社会
の常識や村の実
情をわずかな時
間で習得し、た
いへん有意義な
研修に満足した
ようです。

熱戰

白熱した戦いを展開!!
加茂郡体育大会



力投を見せ1回戦を突破した 実年男子のソフトボール

第四十一回加茂郡体育大会が、六月一日、川辺町をメイン会場に行われ、本村からは、十種目、百五十二人の選手団が出場し熱戦を繰り広げました。

川辺北小学校体育館で行われたバレーボール家庭婦人の部で、本村のチームが三年連続の優勝を成し遂げ、真の実力を見せ付けました。また、個人では、剣道三十五〜四十五歳の部で、上親田の安江誠さんが、クレイ射撃スキートの部で柏本の野村孝さんがそれぞれ優勝しました。

大会の結果は次のとおり。(敬称略) 【優勝】
 ≪団体≫ バレーボール家庭婦人 ≪個人≫ 剣道Ⅱ

【準優勝】△団体▽サッカー一般男子、剣道一

般男子、クレイ
射撃△個人▽ク
んだ一
は惜敗

孝由(平)【三】

位
△団体△ソ
フトテニス一般
て1回戦
ボール、

女子、成壮年、ソフトボール実



力を強化し
男子バレー

戦一般
年男子



戦力を強化して1回戦突破をのぞんだ一般男子バレーボール、しかし結果は惜敗

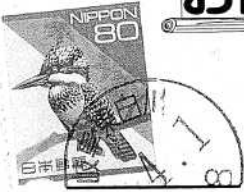
なごやか村の『人情報』

お便り

ぼく、わたしの宝物

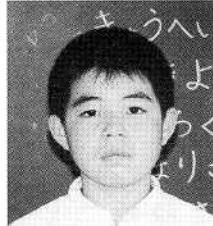
全校登山を終えて

東白川小学校



安江杏子さん（日向）
東白川小学校 6年生

全校登山は私たち六年生にとって最後でした。疲れたけど最後まで登ることができて良かったです。なかよしグループでは、少ししか「がんばれ」の励ましあう言葉が無かったの、こうした行事のときは相手を励ましたり、声をかけていきたいです。でも、クイズをやったり、「ヤッホー」と叫んだりして楽しかったです。到着式の時校長先生から記念メダルがもらえてうれしかったです。



笹俣敬司さん（日向）
東白川小学校 6年生

全校登山を終えて心に残ったことは、ぼくたち六年生は最後の全校登山だったし、グループの班長として登るのも最初で最後でした。低学年の子たちが疲れたら手を引っ張って登ってあげたり「がんばれよ」と励ましの言葉をかけながら、グループのみんなは協力して登山ができたので、とても良かったです。でも、ぼくは一年生のとき水疱瘡で行けなかったの、六つの山を制覇できず、とても残念です。

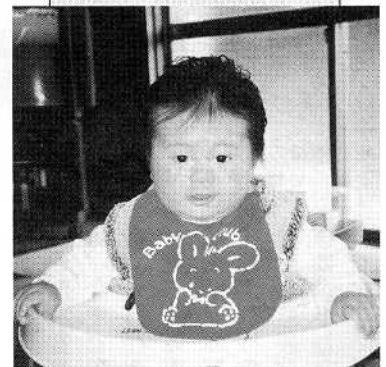


5月16日神土保育園
親子ハイキングより

わが家のスター



このコーナーの子どもたちみな同い年。
10年後、20年後「広報」をみればホラ！
1歳のあの子の顔が...



▲安江 瑞ちゃん
（健さん・昌恵さん
＝日向）

仲間をたずねて



今回は、「ゲートボールをするには、まだ早い」という年配の方たちの間でにわかなブームとなっているスポーツのクラブ、神土グラウンドゴルフクラブを訪ねました。

このクラブは、毎週火曜日に神土運動場で、夜七時半から一時間ほどの練習をしており、誰でも参加は自由とか。この日は二十人余りの皆さんが練習に熱を入れていました。

ところでグラウンドゴルフとは、いったいどんなスポーツ？と言われる方が多いのでは。グラウンドゴルフは、ゴルフとゲートボールを合わせたようなスポーツで、スタート位置から立てられた旗を目掛けて、スティックでボールを打ち、旗の下リングに入れる競技です。コースは全部で八つ。距離は二十歳から五十歳とそれぞれ異っており、打った回数の合計が少ない方が勝ちとなる競技です。参加者の中で、最高齢の今井千ずさん（平）は「誘われて始めたが、今はやみつき」とこの日も好スコアで回っていました。



練習に熱が入るクラブの皆さん



みんな仲間だ！

消息 5月1日～5月30日

(敬称略)

●誕生おめでとうございます

(陰地) 牧野友紀央 } 哲也
美 幸 }

●おくやみ申し上げます

栗本 隆 58歳 (柏 本)
安江 巳保 64歳 (上親田)

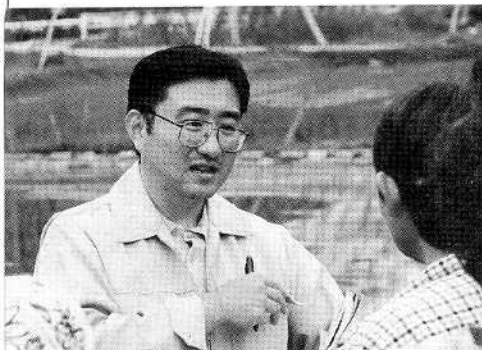
職場から

農業普及員

今回は、水稻、茶、トマト、ナスといった農業が盛んな村にとって、農家の皆さんが頼りにしている可茂農業改良普及センターの桑原吉朗普及員を紹介します。

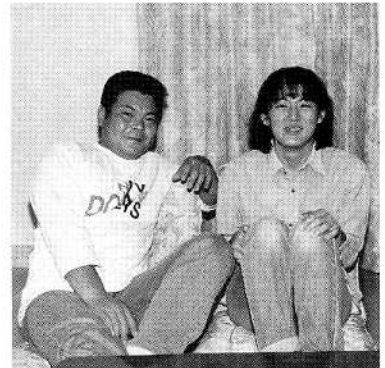
桑原さんは前任の櫛田普及員に代わってこの4月からこの村へ赴任され、すべての農作物の作業が忙しいこの時期とあって、栽培指導で村を飛び回っていました。

まだ、この村へ来て2か月あまりの桑原さんは、「この村の農家の皆さんは、やる気のある方が多い。早く皆さんの取り組み方、考え方を知り、良きパートナーとして頑張りたい」と抱負を語ってくれました。



今回は、森の交流大使として二年間、活躍してくれた旧姓水谷理佳さんとそのハートを見事に射止めた村雲昭仁さん(曲坂)ご夫妻を訪ねました。

お二人は六月一日にはなのき別館で挙式され、曲坂住宅に愛の巣を構えられました。二人が愛を育む出発点となった。



村雲昭仁さん・理佳さんご夫妻

たのは昨年八月のこと。村の飲食店が主催する鮎釣り大会や夏まつりでいっしょに裏方をしたのがきっかけで、その後、二人は急接近。ご主人からの度重なる電話が理佳さんの心を捕らえました。

ホットアンゲル



「これはいったい何やろう」と職員の間で意見が分裂。ヒヨドリかカケスか？そこで野鳥に詳しい自然観察グループの代表松岡昭三さん(平)に尋ねるとカケスと判明し、一件

庁舎の窓越しに外を見ると、許可なく役場所のモチの木に住居を構えている不届き者を発見。どうやらこの木に巣を掛けた鳥の一家、職員が覗き込むたびに親鳥が迷惑そうな顔でヒナをかばいます。



数日後、この可愛いヒナたちは巣立ちをしました。

落着。「こんな所に巣を作るとは山に木が無いわけでもないのに」と松岡さん。親鳥も子育てのためにここが最良の場所と選んだのでしょう。最初は分からなかったヒナの数も六羽と判明。無許可で居住したとはいえ、あまりの可愛らしさに総務課では三週間ほどさかのぼって、居住許可を与えました。

知ってほしい『生活情報』



庭先できれいな花を咲かせた
ツバキ 匿名投稿写真

社協から

不用品布切れ
集めています

先日多くの方々から不用品になった布切れを沢山いただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

使い込んで柔らかくなった布は、身体介護をする際（ヘルパー活動や病院内で）大変重宝しております。ご家庭で古くなった布切れがありましたら、社協までお寄せ下さい。

課題を追う

守りたい・残したい 何げない村の風景

Ⅱ 景観保存対策 Ⅱ

私たちの村の「風景」は、とびきり一級の観光地的でもなく、日ごろ慣れ親しんだ私たちにとっては平々凡々たるものです。その「平凡さ」が、心の安らぐふるさとのイメージを与えてくれる……ともいえます。

春。農道のカーブを曲ったとたん、色あざやかな花桃の古木が満開で迎えてくれます。

初夏。田んぼのあぜから道端まではみ出すように、マーガレットの白い花がこぼれ、谷筋の小さな渕のあたりに、やまぶきの群生が目を引きまします。

このような、何げない植物の存在が、村の風景を形づくっている重要な要素ではないでしょうか。

秋。道路を車で走っていて必ず目に付く位置にあるのは、のきの大木、その見事な紅葉は、今までにどれだけ多くの人が目にしたことでしょう。それが東白川村の風景として、どれだけ多くの人の、心の印象紙に焼き付いていることでしょうか。

冬。すっかり葉を落した柿の木の一枝、ひとつ残った真っ赤な熟柿に雪が積って、思わず「カメラがあったらなァ」と思った経験は、あなたにもきっとあります。

何げない所にある何げない植物、今では柿の実を取って食べることもない古びた柿の木ですが、そこに育って、風景の一部として定着するまでの年月は、数十年、あるいは百年を超えるものもあるでしょう。

これは立派な、そして貴重な財産です。所有権を追求すればほとんどが個人に属するとはいえ、村全体の景観を構成するものとして、個人を越えた保存意識の醸成と、場合によっては行政的な取組みも課題ではないでしょうか。

▼どうやって、 いつまで大丈夫 ▲

梅雨時から夏にかけて取り扱いや賞味期限が特に気になる食品の代表が乳製品です。

牛乳は開封しなくても殺菌の増殖が進み、成分が変化してしまいます。

あまり外気にさらさないようにすることが肝心で、飲む時もすぐにコップに移し、即冷蔵庫へ入れます。開封前は一週間、開封後は二日と考えて、不安であれば匂いをかいで異臭はないか、分離していたり塊はないかなど確認してみます。その他ヨーグルトは冷蔵庫で二週間、氷温なら四週間、保存温度は乳酸菌がほとんど増えない0度程度が適温だとされています。

夏場は、冷蔵庫の開閉が頻繁で温度も上がりぎみです。冷蔵庫の使い方に気を付け過信に注意。

▼生命活動に必要な ナトリウム ▲

毎日の食卓にのっている調味料の食塩は、ミネラルの一つ、塩化ナトリウムです。

ナトリウムは、私たちの体にとって、とても重要な要素で、体の細胞が生命活動を営むために、なくてはならない物質です。急にナトリウムの過不足が起こると、意識障害を起こしたり、心臓や肝臓に負担がかかったりします。それなのに、塩分の取り過ぎが体に悪いといわれるのは、長期的にわたって摂取していると高血圧や胃がんをおこしやすいからです。

私たちは毎日の食事で一日に約一二gのナトリウムを摂取しています。体のために必要な量は、食塩一gといわれています。食事で工夫して取り過ぎに注意しましょう。

行政の窓口

ありがとう
ございました

御寄付

(敬称略)

【社会福祉協議会へ】

現金10万円＝安江一郎（上親田）
古切手＝田口りゑ（中谷）
ロータスクーポン＝今井志喜（下野）
タオル＝桂川道夫（曲坂）
5,377円＝白川茶屋（柏本）

【社会福祉施設整備指定】

現金10万円＝安江正大（日向）
現金2万円＝松岡和男（川辺町）

【医療機器整備指定へ】

現金10万円＝安江鉦次（上親田）
現金20万円＝安江清子（平）

【一般寄付】

現金10万円＝加茂ロータリークラブ

【日赤奉仕団活動指定へ】

現金5万円＝安江清子（平）

【東白川中学校へ】

竹ぼうき10本＝五加老人クラブ寿会
鏡＝木曾文雄（平）

【東白川小学校へ】

竹ぼうき10本＝五加老人クラブ寿会
トマトの苗＝JA東白川支店
花の苗・プランター＝松岡勝（陰地）

【神土保育園へ】

竹ぼうき10本＝五加老人クラブ寿会
カーネーション造花＝東白川村母子寡婦福祉会

【五加保育園へ】

竹ぼうき10本＝五加老人クラブ寿会
カーネーション造花＝東白川村母子寡婦福祉会

【越原保育園へ】

竹ぼうき10本＝五加老人クラブ寿会
カーネーション造花＝東白川村母子寡婦福祉会

高齢期は自己実現のとき

年をとると物忘れが多くなったり、人の名前がすぐに出て来なかったり、からだの機能の衰えを感じずにはいられません。しかし、知識の蓄積による判断力や問題解決能力、また人との協調性や包容力、いたわりやさしさといった心の機能、精神世界はむしろ若いときより充実し、豊かになります。

老化の進行を遅らせるには

- ◎よい夫婦・家族関係
- ◎からだを維持するためのバランスのよい食生活
- ◎自分にあった運動習慣
 - ◎心とからだの適切な栄養
 - ◎あたたかく幅広い人間関係
 - ◎趣味や楽しみを持つこと

保健婦だより

児童手当現況届の提出について

次代の社会を担う児童の健全な育成や資質の向上のために、児童を養育している方に児童手当が支給されます。

児童手当は、三歳未満の児童を養育している方の申請に基づいて支給されるもので、その額は、第一子および第二子については月額五千元、第三子以降については月額一万元となっております。ただし、前年の所得が一定以上ある養育者の方には支給されません。所得制限限度額はその年によって変更されます。

現在、児童手当を受けている方は、六月中旬に「児童手当現況届」を役場住民窓口提出してください。

届け出が無い場合は、手当が受けられなくなりしますので、ご注意ください。

くわしくは／役場住民係有線二二五一

がん検診を受けましょう！

皆さん、今年のがん検診は受けられましたか？

村では今年も次の日程で、がん検診を行います。

★子宮がん検診

七月二十三日（水）JA越原事業所前

★乳がん検診

九月十八日（木）母子センター
十月十六日（木）母子センター

★胃がん検診

十月五日（水）保健福祉センター
十月六日（木）五加センター前

※このうち、子宮がん検診については、現在保健福祉課で予約を受付ています。受診を希望される方は、役場保健福祉課（有線五一五六）までご連絡ください。

「三日里親」を募集します！

県内の養護施設に入所している児童で、夏の帰省時に、家庭の事情や帰省する家庭のない恵まれない児童を民間篤志家に三日間預かってもらい、児童に温かい家庭の雰囲気を経験させるために、岐阜県の委託を受けて岐阜県里親連合会が行うものです。

▼児童を里親に委託する期間

平成九年八月二日（土）～八月四日（月）

▼申し込み方法

三日里親申込書に記入のうえ提出

▼申し込み期間

平成九年七月一日～七月十一日まで

▼里親に委託する児童の通知

七月二十八日までに通知書を送付します。

■お問い合わせ・申し込み／役場保健福祉課有線五一五六まで

輝く田舎の『文化情報』



役場から見た無反山の新緑
揚羽蝶に見えませんか？

旬^{しゅん}の話 漢字

日本語を表現する漢字はそれぞれに意味を持っており、意味のある文字で綴られた日本のことばは、一字一字は意味を持たない表音文字（ローマ字など）の言葉より幅と深みがあると言われます。

俳句のような短い言葉が立派な文芸として成り立っているのもそのおかげでしょう。

イブよりも露^{あは}ならずや紐水着 鷹羽狩行

いちじくの葉でしっかり隠しているイブのほうが……と、女性の露出度に驚嘆する句ですが、「露^{あは}」は、露のよに僅かという意味があり、この一字がこの句の命と言えましょう。

兄以上恋人未満搔水 黛まどか

漢字だけで綴られたこの句。読むほかに意味深長、「以上未満」の男とかき水をすくっている少女の面影さえ浮びます。

意^い心。心の動き。
気持。考え。物事の
内容。わけ。

意^い

田内公味子書

私の作品

「たのしい保育園」▶

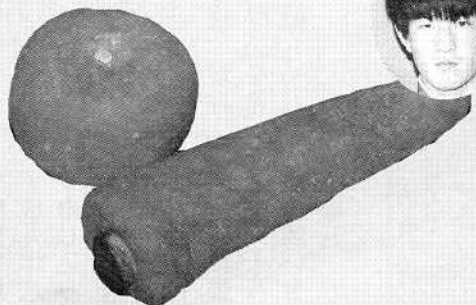
神土保育園年長組

左から熊崎聖乃ちゃん（神付）
島倉由起子ちゃん（平）

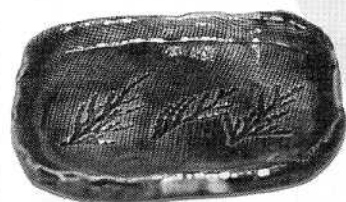


▲「くぎの風鈴」
東白川小学校4年生
桂川陽治さん（日向）

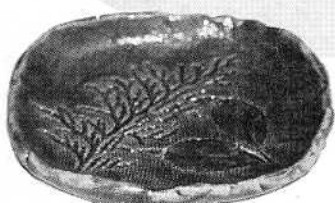
▲彫塑「リンゴ」
東白川中学校2年生
安保好美さん（大沢）



▲彫塑「ニンジンとミカン」
東白川中学校2年生
田尻宗司さん（神付）



▲陶芸「小皿」
安江利一さん（西洞）
高齢者生きがい事業



陶芸「小皿」▶
安江和郎さん（下野）
高齢者生きがい事業



▲「ターザンロープで遊んだよ」
東白川小学校1年生
今井将聖さん（大沢）

心のオアシス

東白川村百科

ヤブキタ

「石垣茶」と呼ばれる茶がありました。文字どおり田や畑の石垣の間に自生状態で生えている茶樹ですが、昭和35年、茶を有利な換金農作物として振興しようという「新農村計画」がスタートするまでは、村で穫れるお茶はほとんどが「石垣茶」でした。

村でいよいよ茶を本格的に栽培することになり、まず必要になったのは茶樹の苗木で、研究の結果当時優良品種として話題を集めた「ヤブキタ」という品種を導入することになりました。

「石垣茶」は正式な品種名ではなく冗談まじりの名前ですが「ヤブキタ」は国に登録された品種名です。

したがって百本の苗ならその苗すべてが同じ特性を持っていなければなりません。そのために枝を切って土に付けて発根させる「挿木法」によって苗が作られます。

石垣茶のほうは種で増えたものですから一本一本の性質が違います。茶樹という植物は種が伝える遺伝特性が不安定なため実生（みしょう）には不向きといえます。ヤブキタ茶園は今や東白川村の景観イメージそのものです。

俳句

耕すや父祖伝来の土かおる
自然の美過疎も又よし竹の秋
飛行雲の端よりくずれ霞みけり
消え残る雪を眺めて旅に出る
拭き清む墓石すがしや春彼岸
カーネーション差して通りぬ茶摘菟
一雨に茶園の緑四方に映ゆ
霜予報に衣を更へて仰ぐ空
齒の抜けた子供笑える若葉かな
谷の音やがて河鹿もつられ鳴く
春曉や牛飼いの農婦の白手拭
春めくやそよ風やさし頬なでる
水音や木の芽起しの雨けむる
雲流れ山鳩発する太き声
寒明けて水音やさし小川かな
鉢植の埃りを春雨洗いけり
道端の若葉照るや我誕生日
春曉に皇太子の夢胸に秘す

日向	安江	一滴水
栃山	安江	市助
下野	安江	和朗
西洞	中島	甲子生
栃山	桂川	喜郎
平	安江	武子
平	今井	統子

あなたも作品をお寄せください—初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。奇数月の20日までに神戸河田重喜宛に出して下さい。

久々に集ふ姉妹や花筵
咲き初める藤の花房峠坂
月かげの水田蛙鳴き通す
カーテンを誘ふ風あり皐月晴れ
紅梅の雪光れる朝の庭
月かげへ仄かに浮ぶ雪柳
酒樽をむしろへどっかと花吹雪
遠雷や遺影笑みを絶やさざる

曲坂	菊田	清美
中通	村雲	みか子
平	安江	すみ
西洞	河田	重喜

本

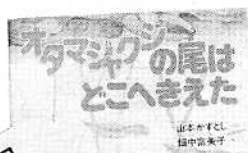
「スコットランド・ヤード物語」 内藤 弘 著

近代警察はどのようにして生まれたか。市民の10人に1人が犯罪者だといわれていた19世紀初頭のロンドンで、世界最初の近代警察、ロンドン警視庁が誕生した。名探偵ホームズ物語に隠されたエピソードや犯罪都市の実態。警察庁の知られざる歴史を浮彫りに…。

「オタマジャクシの尾はどこへきえた」

山本かずとし 著

オタマジャクシは水の中でくらしていますが、カエルになると、りくでくらすることができます。これはからだのしくみが、りくのくらしにあうように、つくりかえられるからです。しぜんの中でのふしぎなものへ目をむけ、たのしくべんきょうしましょう。



おし らせ

連絡
募集
行事

information

看護ボランティアに

参加してみませんか

可茂保健所では、「看護ボランティア養成講座」を開催いたします。

看護ボランティアとは、病院で看護や介護などのお手伝いをしていただくボランティアです。

期日／平成九年七月三十日（水）～八月一日（金）の三日間

場所／岐阜社会保険病院（可児市土田）

内容／看護ボランティアに必要な基礎知識の話とベッドメイキングや食事介助などの実習

対象者／ボランティアに関心があり講座終了後も活動していただける方

参加費／無料

申し込み先・問い合わせ／可茂保健所保健指導係 ☎

五七四―二五―三一一内線三六四

難病医療福祉相談会

の開催について

難病とはどんな病気、治療や日常生活はどのようなにしたらよいか。また、医療保障やどんな社会福祉サービスがあるかなど、難病についての相談会を開催します。

難病でお悩みの方、難病ではないかと心配しておられる方、看護しておられるご家族の方、どなたでもお気軽にお出掛けください。
日時／平成九年七月十三日（日）午後一時～四時

会場／美濃加茂市総合福祉会館（すこやかタウン美濃加茂）二階

相談内容／膠原病（強皮症・エリトマトーデス）、神経内科の病気（多発性硬化症・重症筋無力症・脊髄小脳変性症）、内科中心による相談

※相談は無料です。保健婦さんによる在宅療法相談もして頂けます。

問い合わせ／岐阜県難病団体連絡協議会 ☎五八―二五二―三五六七

暴力団等の被害に

遭わないために

★不当な要求には絶対応じない。金をださない。

★暴力団関係者との取り引きはやめる。

★常に法的解決を考えて対応する。

★警察・暴力追放センターとの連携を密にする。

★対応は単独では行わず必ず二人以上の複数で。

★必ず、相手の名前と用件を確認する。

★断るものは最初からはっきりと。

★理由なき念書等は一切書かない。

★必ず、対応の内容、状況をメモ、録音し証拠化する。

※おかしいと思ったら、すぐに相談してください。早めの相談が被害を防ぎます。

問い合わせ・ご相談は／

（財）岐阜県暴力追放推進センター ☎フリーダイヤル〇一二〇―〇三七―二一四

「ゴミをすてないでね」と商工会婦人部

「清流白川を守るために、私たちに何かを」と商工会婦人部の皆さんが「ゴミをすてないでね！守ってます東白川」と書かれた看板を設置しました。この看板が設置されたのは、平の鮎ヶ瀬公園付近の駐車場。「太公望たちの目に止まるように」とこの場所に立てられました。大きさは縦一・八、横五の巨大看板。この看板を見て、ゴミを捨てる人がいれば、よほどの神経の持ち主。今後越原、五加地区にもこうした看板を設置するそうです。



つい最近のテレビでヒマラヤの近くの村で作られる

百グラム一万円の紅茶の話題が放映されていた。びっくりするような高値だが、わが白川茶でも結構高値のものがある。▼高いことはないが、紅茶にしてもコーヒーにしてもブランド性が高く我々でもこだわっていることが多い。▼反面白川茶の本場のこだわりはどうだろう。紅茶、コーヒーのようなこだわりを持っていないのだろうか。わが家での飲み方、さっと入れ、さっと飲む。うんちくはどうも茶菓子の方。▼生産は少しでも品質のよいお茶を作り高く売ればであり、消費で考えれば本当によいお茶を飲んでいけるかは疑問。▼お茶は嗜好品である限り、今日は気分が良いので東白川の百グラム数千円の「ヤブキタ」の一番づみを、今日は食事中心だから少し火の強い番刈り茶にしよう。お茶専用の棚には、ピンからキリまでの茶缶が並び、訪れた客にうんちくを傾けながら入れることをやってみよう。



再生紙を使用しています